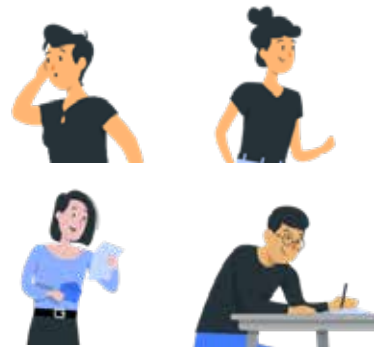


しつごしょう

失語症



脳卒中や事故などで脳が傷つくことで起こる障害です。
「話す、聞く、読む、書く」ことが不自由になります。
言葉の困難さによって生活に大きな支障が出ます。

全国に20-50万人

大規模な実態調査は行われていませんが成人の200人に1人程度の人が失語症がある状態で暮らしていると考えられます。

失語症で困ることの例

話す	聞く	読む	書く
<p>役所や銀行の窓口で伝えられなくて焦る</p> <p>カフェで注文が難しくていつも同じもの</p>	<p>質問が早すぎて対応できない</p> <p>レストランで何を聞かれているかわからないから、行きたい気持ちがなくなる</p>	<p>バスの行き先表示がわからないので勘で乗る</p> <p>お知らせが貼り出してあっても内容がわからない</p>	<p>メモが取れないので忘れてしまう</p> <p>単調なメールやスタンプだけのLINEになってしまう</p>

会話の工夫

失語症がある人の話したいことをじっくり聞くこと
わかりやすくゆっくり話すこと、会話の内容を丁寧に確認すること、これらの工夫があると失語症がある人にとってわかりやすい話し方になります。
東京都と八王子市では、失語症がある人の活動と参加を意思疎通の面で支援する、失語症者向け意思疎通支援者の養成が行われています。



八王子失語症サロン “ペチカ”

日時: 毎月第4日曜日10:00-11:30

会場: 八王子市本町16-17 八王子リエイブルメントセンター

問合せ: 一般社団法人 東京都言語聴覚士会 ishisotsu@st-toshikai.org

